

2019年7月24日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CSFO兼社長室長 松山哲人
電話番号 03-3241-0553

再生医療分野における不妊治療を推進 8/1 受精着床学会でのセミナー開催のお知らせ

当社は、「Aeon Acti-PRP」の国内における販売権を取得、PRP療法による不妊治療について、産婦人科PRP研究会を中心にしたサポートをスタートし、再生医療分野に参入しました。

本件に伴い、8月1日（木）から2日（金）にかけて開催される「第37回日本受精着床学会総会・学術講演会」において、8月1日（木）にランチョンセミナー「生殖医療と患者支援の最前線」を株式会社エムティーアイ（東京都新宿区、代表取締役社長：前多俊宏）と共催します。



ランチョンセミナーA：生殖医療と患者支援の最前線

セミナー内では、山王病院の久須美真紀医師が「難治性不妊に対するPRP療法の実績と成果」と題して発表されます。

PRP療法は、海外では産婦人科領域における不妊治療に応用されており、国内では山王病院を中心に難治性不妊の治療にPRP療法を加える臨床研究が昨年開始され、その成果について本セミナーにおいて最終報告が予定されています。

本講演は第37回日本受精着床学会総会・学術講演会のセッションであり、参加には学会への参加登録（当日受付）が必要です。

第37回 日本受精着床学会総会・学術講演会

<http://jsfi37.umin.jp/>

※難治性不妊症におけるPRP療法

国内において、不妊治療の重要度は年々増えています。厚生省の資料（平成30年1月）では、総出生児に対する不妊治療による出生児の割合は約2%（平成18年）から約6%（平成28年）に増加しています。国内においては、不妊治療実施件数は世界一ですが、出生率は低い水準で、その中でも7mm未満の子宮内膜では着床が非常に難しいことが知られております。PRP療法は、何度も治療し繰り返し胚を移植してもなかなか妊娠しない難治性不妊の方において、子宮内膜に働きかけ着床率を高めることが期待されています。産婦人科PRP研究会：<https://ogprp.org/>

以上